

# 平成24年度吉川市市民意識調査報告書

— 概要版 —



**吉川市**  
Yoshikawa City

平成25年3月

吉川市役所はISO9001供給者適合宣言をしています。

# 市民意識調査の概要

## 1. 調査の趣旨

この調査は、市政に対する市民ニーズが多様化している中で、市の取り組みについての市民の意向（満足度・重要度）や意識を調査・把握することを目的としています。

また、本市では、ISO9001 供給者適合宣言を行っておりますので、このシステムに基づく要求事項8. 2. 1により、顧客満足度を監視する調査として位置付けています。

この調査の実施に当たり、市内在住の20歳以上の男女1,500人（平成24年9月1日現在）の方にご協力いただきました。

なお、調査項目、調査時期等については次のとおりです。

## 2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) あなたの幸福感
- (3) 吉川市の住み心地
- (4) あなたの現状と認識
- (5) 市の取り組みについての満足度
- (6) 市の取り組みについての重要度
- (7) 特集
- (8) 行政サービスについて



## 3. 調査時期

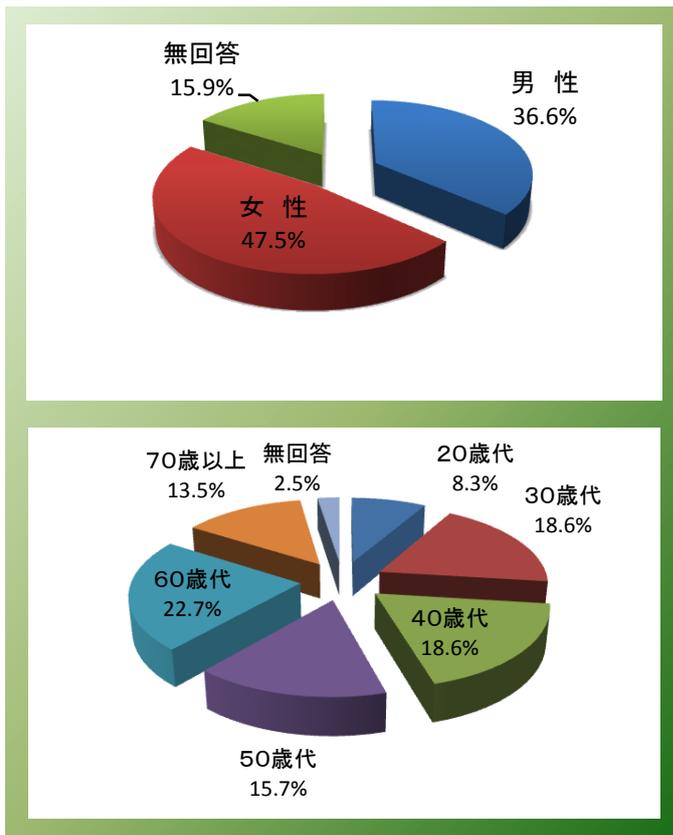
平成24年10月4日（木）から19日（金）まで

## 4. 調査方法

郵送配布・郵送回収による調査

## 5. 回収結果

有効回収数（率） 853人（56.9%）



(1つ選択)

区分	実数	割合
男性	312	36.6%
女性	405	47.5%
無回答	136	15.9%
母数	853	100.0%

(1つ選択)

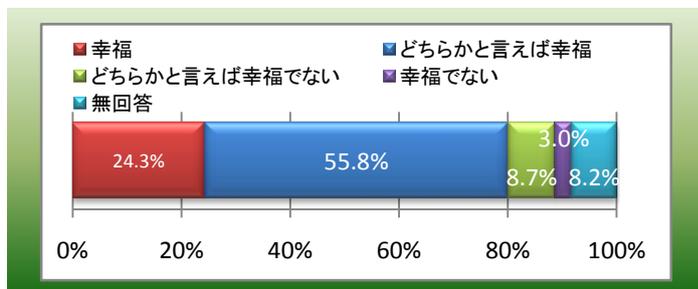
区分	実数	割合
20歳代	71	8.3%
30歳代	159	18.6%
40歳代	159	18.6%
50歳代	134	15.7%
60歳代	194	22.7%
70歳以上	115	13.5%
無回答	21	2.5%
母数	853	100.0%

## 2. 回答者の幸福感

～ 回答者の8割以上が「幸福・どちらかと言えば幸福」と感じている ～

回答者の主観的な「幸福感」について伺ったところ、「幸福」207人(24.3%)、「どちらかと言えば幸福」476人(55.8%)、「どちらかと言えば幸福でない」74人(8.7%)、「幸福でない」26人(3.0%)と回答しています。

「幸福・どちらかと言えば幸福」は80.1%、「どちらかと言えば幸福でない・幸福でない」は11.7%となっており、回答者の8割以上が幸福であると感じています。

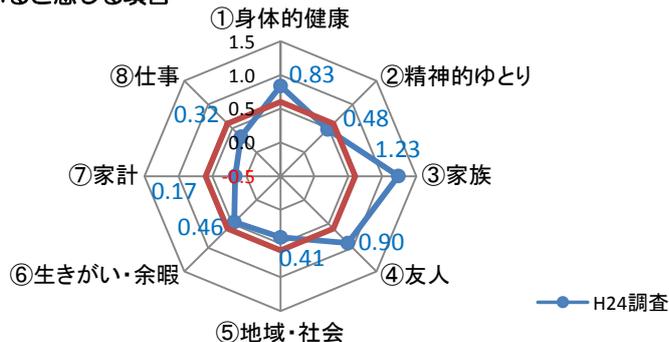


区分	実数	割合
幸福	207	24.3%
どちらかと言えば幸福	476	55.8%
どちらかと言えば幸福でない	74	8.7%
幸福でない	26	3.0%
無回答	70	8.2%
計	853	100.0%

～ 項目別トップ3 ～

「満たされていると感じる項目」は「家族」「友人」「身体的健康」  
 「幸福感を判断する際に重視する項目」は「身体的健康」「家族」「家計」

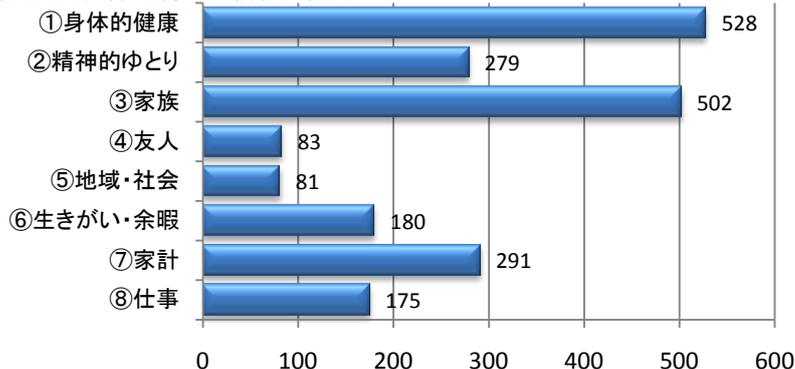
満たされていると感じる項目



幸福感を判断する項目についての満足度をみると、全項目の平均値はプラス0.60ポイントとなっています。家族(1.23)と友人(0.90)に対する満足度は高いものの、家計(0.17)と仕事(0.32)に対する満足度が低く、全体的に両極端な結果となっています。

①～⑧の満足感について何い、その回答を「満足」2ポイント、「どちらかと言えば満足」1ポイント、「どちらかと言えば不満」マイナス1ポイント、「不満」マイナス2ポイントに変換してレーダーチャートを作成しました。

幸福感を判断する際に重視する項目

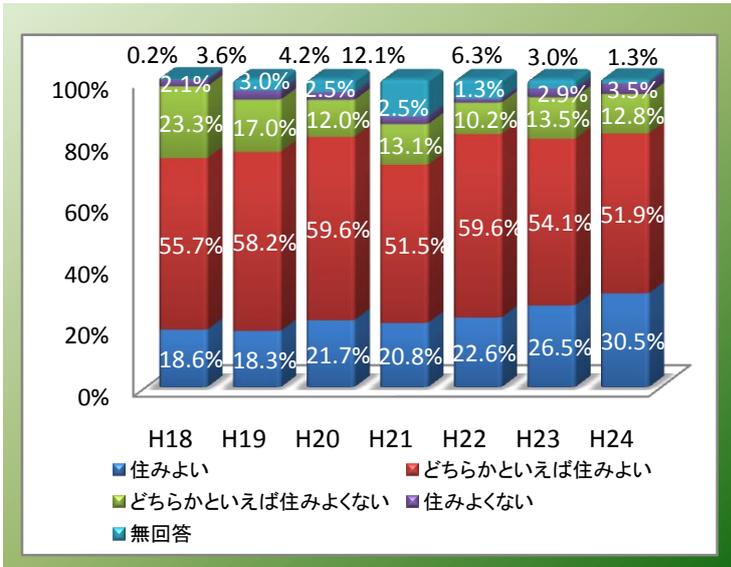


幸福かどうかを判断する際に重視する項目を3つ選んでいただいたところ、「身体的健康」、「家族」、「家計」が上位に上がりました。



### 3. 吉川市の住み心地

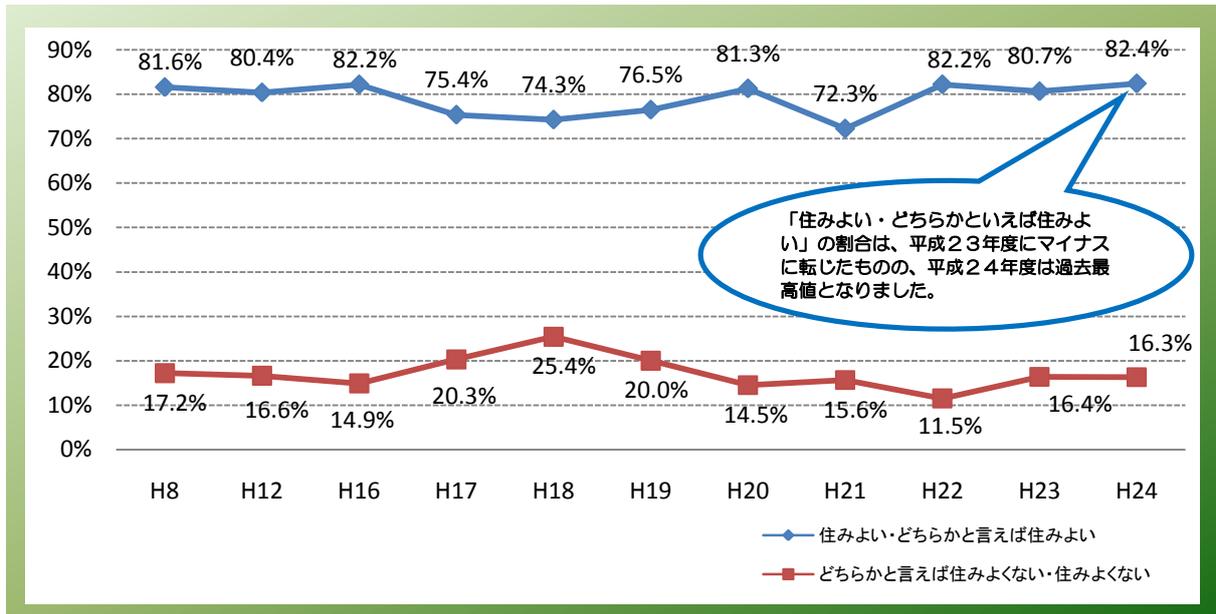
～ 回答者の8割以上が「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と感じている ～



吉川市の住み心地を伺ったところ、「住みよい」260人（30.5%）、「どちらかと言えば住みよい」443人（51.9%）、「どちらかと言えば住みよくない」109人（12.8%）、「住みよくない」30人（3.5%）、「無回答」11人（1.3%）となっています。「住みよい・どちらかと言えば住みよい」の合計は、82.4%で回答者の8割が「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と感じています。前年度の調査（80.7%）と比較して1.7ポイント増加し、今年度は住み心地の評価が過去最高値となっています。「住みよい」を見ると30.5%で、前年度の調査（26.5%）と比較して4.0ポイント増加しており、住み良さの質が高まっていることが伺えます。

過去6か年の調査結果を見ると「住みよい・どちらかと言えば住みよい」は約72%から約82%の間の範囲で推移しています。

～ 平成23年度調査の「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と比べ 1.7ポイント増加 ～



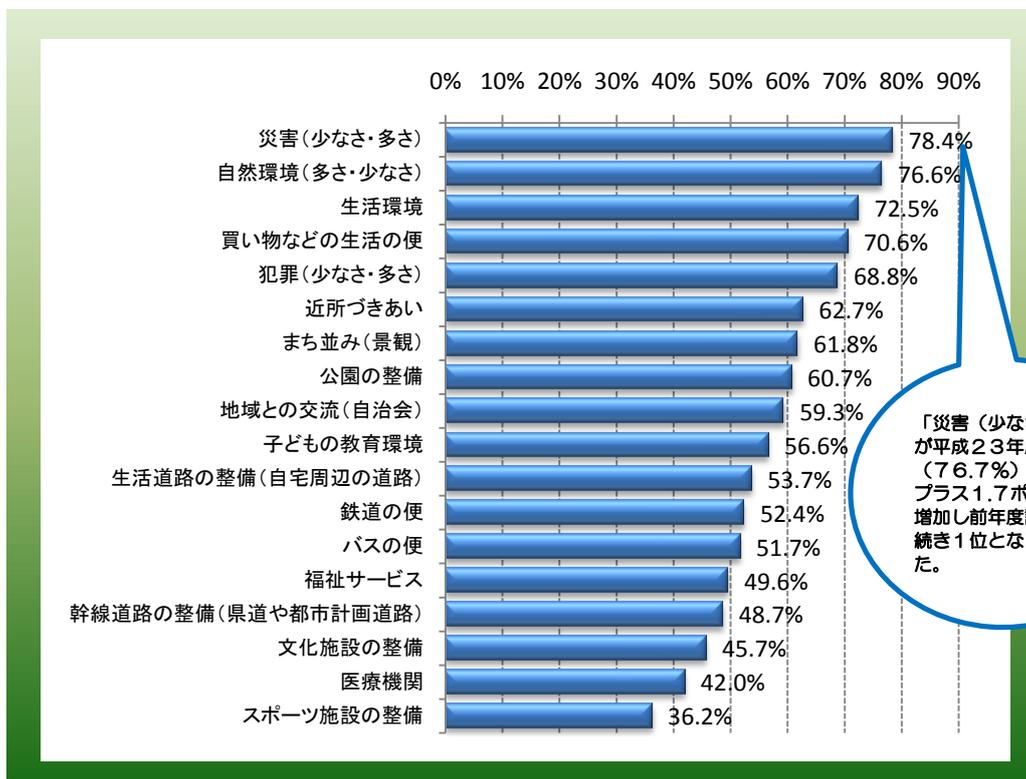
これまで実施した調査の「吉川市の住み心地」について経年変化をしてみると「住みよい・どちらかと言えば住みよい」は、平成21年度（72.3%）に平成20年度（81.3%）と比較して9.0ポイント減少しましたが、平成22年度（82.2%）には、これまで最も高かった平成16年度の割合まで増加し、平成24年度（82.4%）は過去最高値となりました。

「どちらかと言えば住みよくない・住みよくない」は、平成18年度（25.4%）を境に減少傾向となり、平成22年度（11.5%）に最も良い水準になりましたが、平成23年度（16.4%）、平成24年度（16.3%）と吉川市の住み心地はやや低下しています。



## 3-2. 吉川市の住み心地を「よい」とする理由

～ 住み心地を「よい」と感じる点として、7割以上の回答者が「災害（少なさ）」、「自然環境（多さ）」、「生活環境」、「買い物などの生活の便」をあげている ～



(該当するもの全て選択)

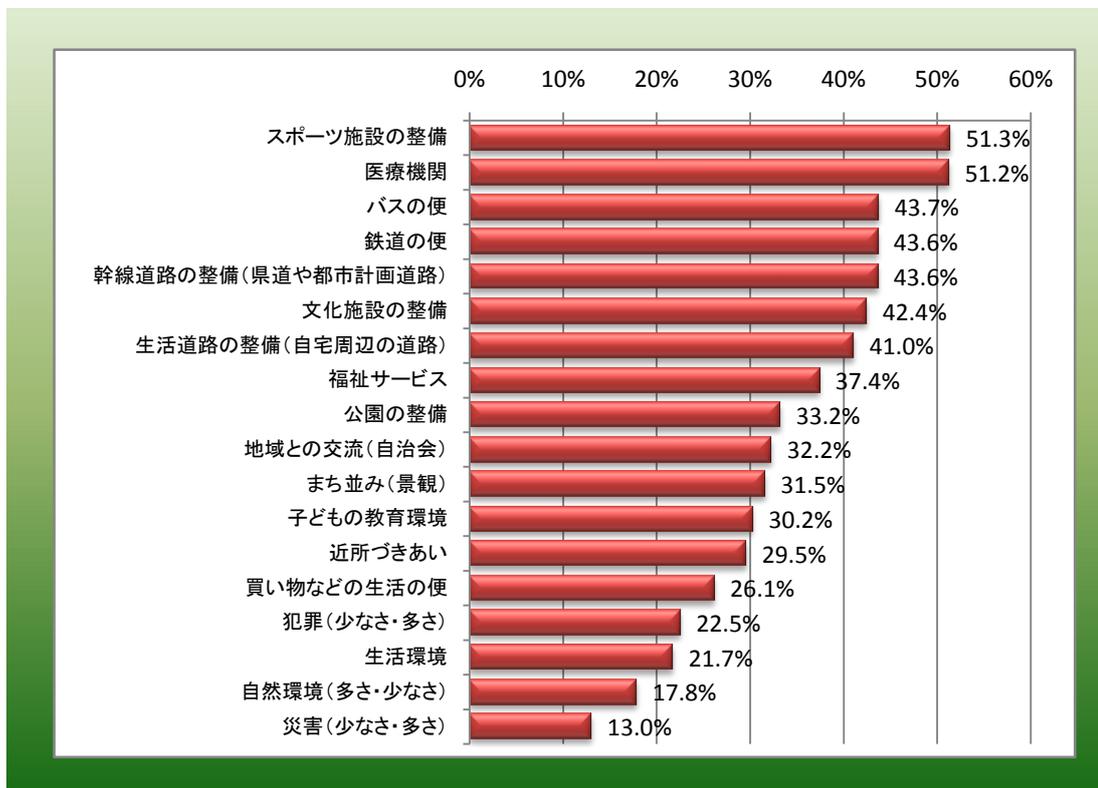
区分	実数	割合
災害(少なさ・多さ)	669	78.4%
自然環境(多さ・少なさ)	653	76.6%
生活環境	618	72.5%
買い物などの生活の便	602	70.6%
犯罪(少なさ・多さ)	587	68.8%
近所づきあい	535	62.7%
まち並み(景観)	527	61.8%
公園の整備	518	60.7%
地域との交流(自治会)	506	59.3%
子どもの教育環境	483	56.6%
生活道路の整備(自宅周辺の道路)	458	53.7%
鉄道の便	447	52.4%
バスの便	441	51.7%
福祉サービス	423	49.6%
幹線道路の整備(県道や都市計画道路)	415	48.7%
文化施設の整備	390	45.7%
医療機関	358	42.0%
スポーツ施設の整備	309	36.2%
母数	853	100.0%

吉川市の住み心地を「よい」と感じる理由を伺った結果、「災害（少なさ）」が78.4%で最も多く、2番目「自然環境（多さ）」が76.6%、3番目「生活環境」が72.5%の順番となっており、平成23年度調査と同様の順番となりました。平成24年度調査では、「幹線道路の整備（県道や都市計画道路）」が前回調査から9.5ポイント増加し、「バスの便」が前回調査から6.3ポイント増加しました。平成24年には市内道路の開通やバス路線の新設が行われています。



### 3-3. 吉川市の住み心地を「わるい」とする理由

～ 住み心地を「わるい」と感じる点として、約5割の回答者が「スポーツ施設の整備」、「医療機関」をあげている ～



(該当するもの全て選択)

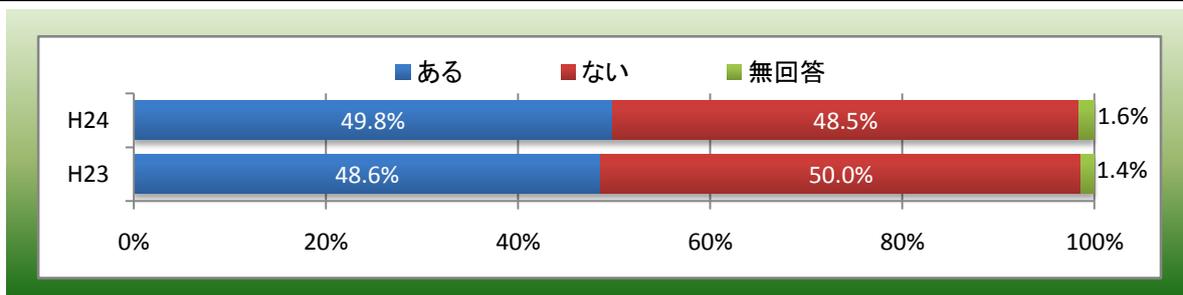
区分	実数	割合
スポーツ施設の整備	438	51.3%
医療機関	437	51.2%
バスの便	373	43.7%
鉄道の便	372	43.6%
幹線道路の整備(県道や都市計画道路)	372	43.6%
文化施設の整備	362	42.4%
生活道路の整備(自宅周辺の道路)	350	41.0%
福祉サービス	319	37.4%
公園の整備	283	33.2%
地域との交流(自治会)	275	32.2%
まち並み(景観)	269	31.5%
子どもの教育環境	258	30.2%
近所づきあい	252	29.5%
買い物などの生活の便	223	26.1%
犯罪(少なさ・多さ)	192	22.5%
生活環境	185	21.7%
自然環境(多さ・少なさ)	152	17.8%
災害(少なさ・多さ)	111	13.0%

吉川市の住み心地を「わるい」と感じる理由を伺った結果、「スポーツ施設の整備」が51.3%（前回調査4番目）で最も多く、2番目「医療機関」が51.2%（前回調査2番目）、3番目「バスの便」が43.7%（前回調査3番目）の順番となりました。平成18年度から平成24年度までの6か年度で理由の上位に大きな変更はありませんが、区分ごとの割合では前回調査で1番目だった「幹線道路の整備(県道や都市計画道路)」(43.6%)が平成23年度(54.1%)に比べ、10.5ポイント減少しており、「バスの便」(43.7%)は平成23年度(49.9%)から6.2ポイント減少、「犯罪の多さ」(22.5%)は、平成23年度(27.5%)から5.0ポイント減少していません。



## 4-1. 自治会、町会活動などの地域活動への参加状況

～ 回答者の約5割が自治会、町会活動などの地域活動に参加している ～



自治会、町会活動などの地域活動に参加したことがあるか伺ったところ、回答者の約5割が「ある」（49.8%）としており、平成23年度から1.2ポイント増加しています。

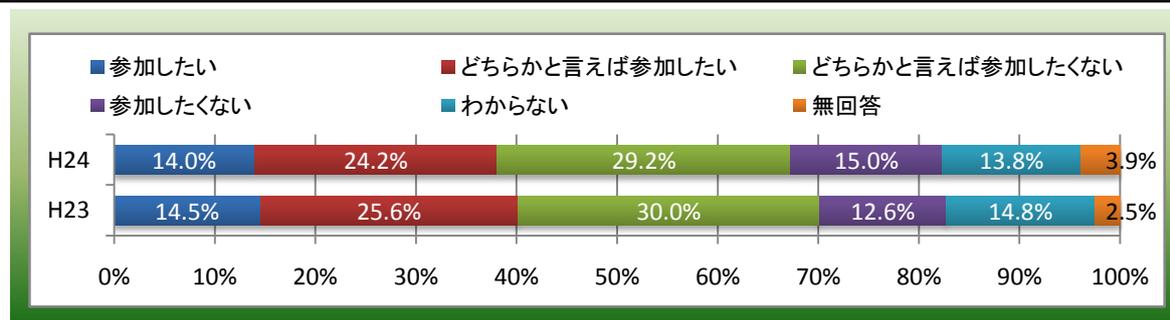
一方、「ない」（48.5%）を選んだ理由は次のとおりでした。

（平成24年度）

区分	実数	割合
仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから	209	24.8%
どのような活動をしているかわからないから	140	16.6%
活動に参加しなくても生活に支障がないから	139	16.5%
活動に興味がないから	115	13.7%
役員等の責任を負うのが面倒だから	91	10.8%
近所づきあいがわずらわしいから	63	7.5%
自治会活動は必要性がないから	43	5.1%

## 4-2. 自治会やボランティア・NPO活動への参加意向

～ 回答者の約4割が今後参加してみたいと考えている ～



（平成24年度）

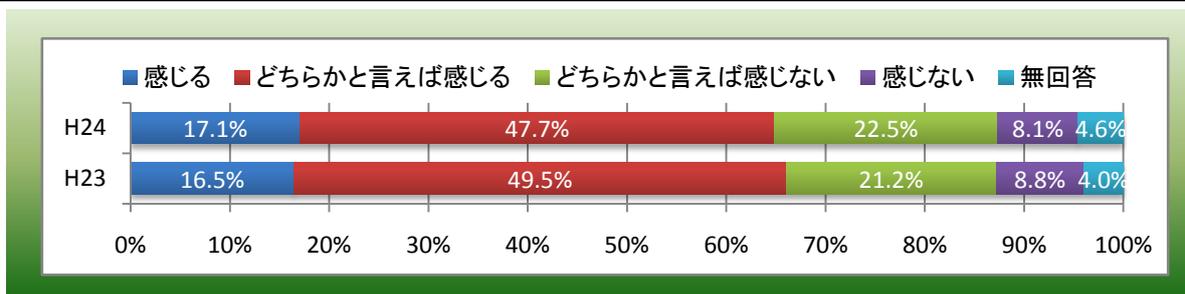
区分	実数	割合
地域活動	160	19.1%
スポーツ	120	14.3%
防犯・防災・交通安全	96	11.5%
子ども健全育成	96	11.5%
福祉	82	9.8%
まちづくり	77	9.2%
文化芸術	60	7.2%
保健・医療	59	7.0%
国際交流・国内交流	42	5.0%
社会教育	38	4.5%

自治会やボランティア・NPO活動への参加意向を伺ったところ、「参加したい・どちらかと言えば参加したい」の割合は38.2%となり、平成23年度から1.9ポイント減少しました。

「参加したい」、「どちらかと言えば参加したい」と回答した人に、参加したいと考える活動を伺ったところ、1番目「地域活動」（19.1%）、2番目「スポーツ」（14.3%）、3番目「防犯・防災・交通安全」（11.5%）と「子ども健全育成」（11.5%）が希望する活動のうち、上位の4つとなりました。

### 4-3. 男女平等意識

～ 回答者の約65%が男女が平等に活動できていると感じている ～



家庭や地域、職場などで男女が平等に活動できていると感じるか伺ったところ、回答者の約65%が男女平等と「感じる・どちらかと言えば感じる」（64.8%）としています。

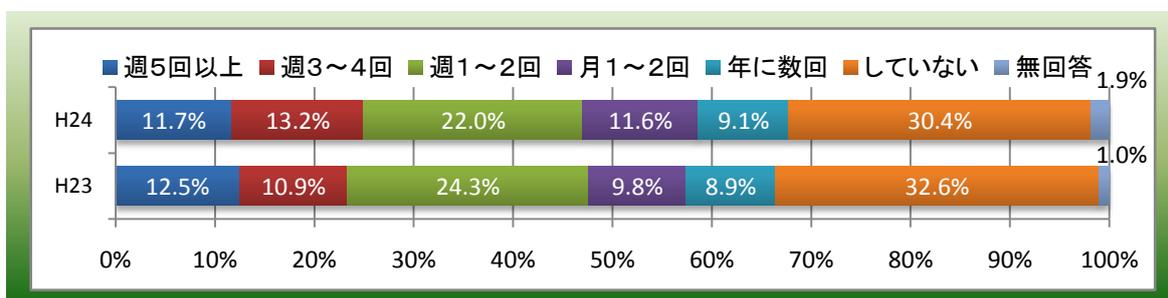
「どちらかと言えば感じない・感じない」（30.6%）とした理由は次のとおりでした。

（平成24年度）

区分	男性が優遇されている		女性が優遇されている		無回答	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
家庭生活で	120	46.0%	23	8.8%	118	45.2%
職場で	164	62.8%	12	4.6%	85	32.6%
地域社会で	123	47.1%	21	8.0%	117	44.8%
社会通念・慣習などで	163	62.5%	8	3.1%	90	34.5%

### 4-4. 運動やスポーツの頻度

～ 回答者の約5割が週1回以上運動やスポーツを行っている ～



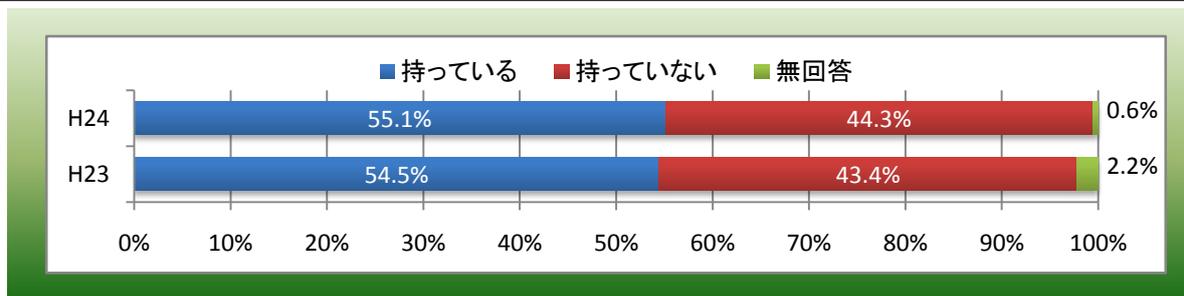
（平成24年度）

区分	実数	割合
仕事や家事で時間がないから	262	37.0%
特に理由はない	104	14.7%
身近に利用できる施設や場所がないから	92	13.0%
お金がかかるから	77	10.9%
運動やスポーツが好きではないから	59	8.3%
一緒にする友達や仲間がないから	41	5.8%
身体が弱いから	33	4.7%
高齢だから	17	2.4%
施設や場所の予約が取れないから	7	1.0%
指導者がいないから	3	0.4%

運動やスポーツを行う頻度について伺ったところ、週1回以上運動やスポーツを行っている方の割合は47.0%となり、平成23年度（47.6%）からマイナス0.6ポイントとなりました。「月1～2回」、「年に数回」、「していない」と回答した方に理由を伺ったところ、「仕事や家事で時間がないから」が37.0%で最も割合が高く、ついで「特に理由はない」（14.7%）、「身近に利用できる施設や場所がないから」（13.0%）の順に高い結果となりました。

## 4-5. 「かかりつけ医」の有無

～ 回答者の5割以上が「かかりつけ医」を持っている ～



「かかりつけ医（歯科医を除く）」を持っているか伺ったところ、回答者の5割以上が「持っている」（55.1%）としています。

回答者が「持っていない」（44.3%）を選んだ理由は次のとおりでした。

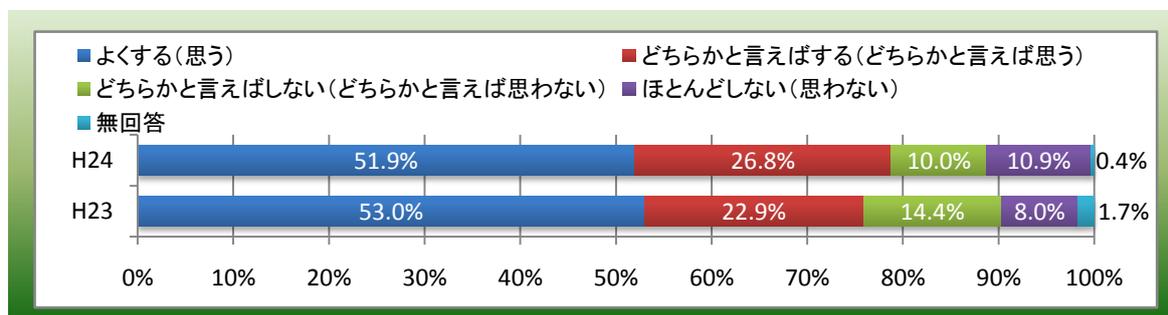
（平成24年度）

区分	実数	割合
「かかりつけ医」を必要とする病気になったことがないから	189	35.3%
病状等でその都度、受診先を決めており、特に決まった医師がいないから	157	29.3%
病気等にかかったらまず病院へ行くようにしているから	102	19.0%
「かかりつけ医」にしたいような診療所がないから	68	12.7%
病気になっても医師の診療は受けたくないから	8	1.5%



## 4-6. 市内商店での買い物状況（意向）

～ 回答者の約8割が市内の商店で買い物をしている（したいと考えている） ～



市内の商店で買い物をするか（したいと思うか）伺ったところ、約8割の回答者が「よくする（思う）・どちらかと言えばする（どちらかと言えば思う）」と答えています。「どちらかと言えばしない（思わない）・しない（思わない）」と回答した方に、市内の商店で買い物をする（したい）と思うために必要と考えるものを伺ったところ、次のとおりでした。

（平成24年度）

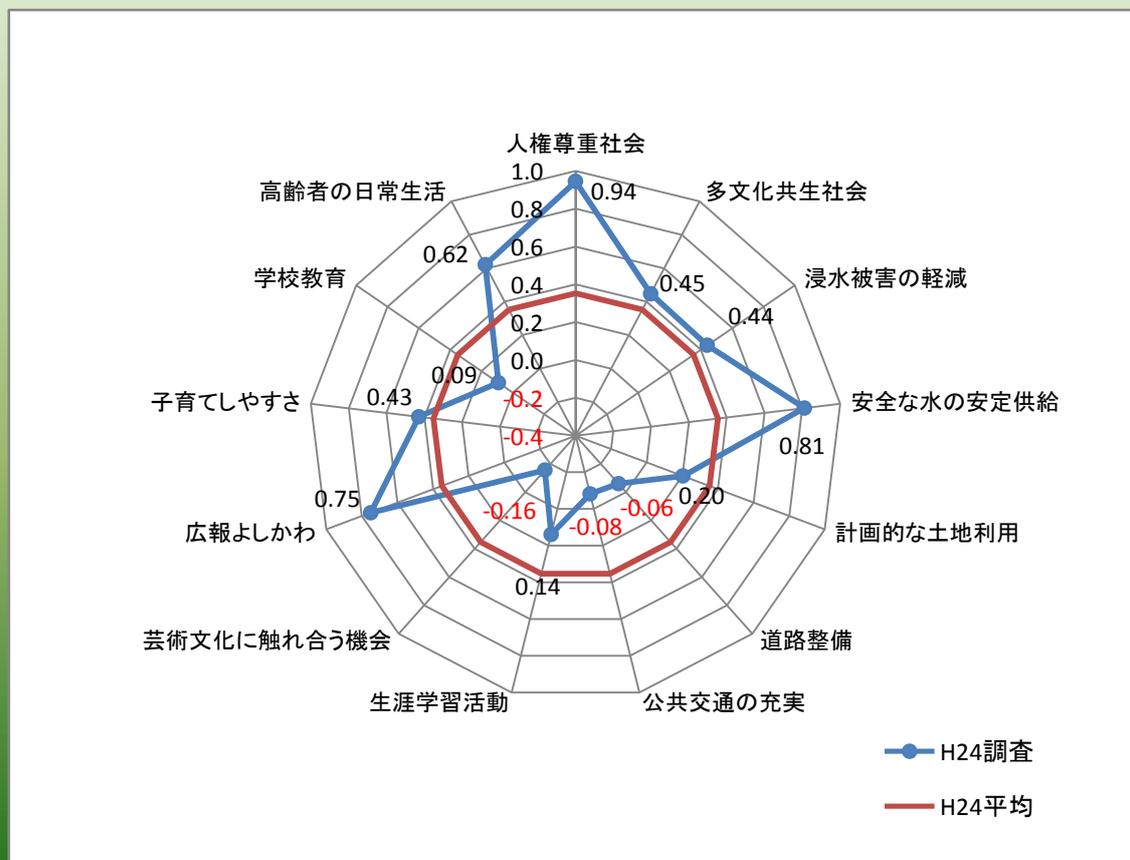
区分	実数	割合
値段が安い、サービスやポイントなど特典がある	85	19.1%
商店街などまとまった商業エリアがある	84	18.9%
駐輪場・駐車場がある	80	18.0%
新商品や流行の商品など品揃えが豊富	72	16.2%
接客態度がよい、店舗が清潔で雰囲気がい	63	14.2%
駅やバス停から近い	43	9.7%

「値段が安い、サービスやポイントなど特典がある」（19.1%）、「商店街などまとまった商業エリアがある」（18.9%）、「駐輪場・駐車場がある」（18.0%）が同程度に求められています。

## 5. 吉川市の取り組みについての満足度

～ 満足度トップ3 ～

「人権尊重社会」、「安全な水の安定供給」、「広報よしかわ」



吉川市の取り組みについての満足度を伺い、その回答を「満足」2ポイント、「どちらかと言えば満足」1ポイント、「どちらかと言えば不満」マイナス1ポイント、「不満」マイナス2ポイントに変換してレーダーチャートを作成しました。

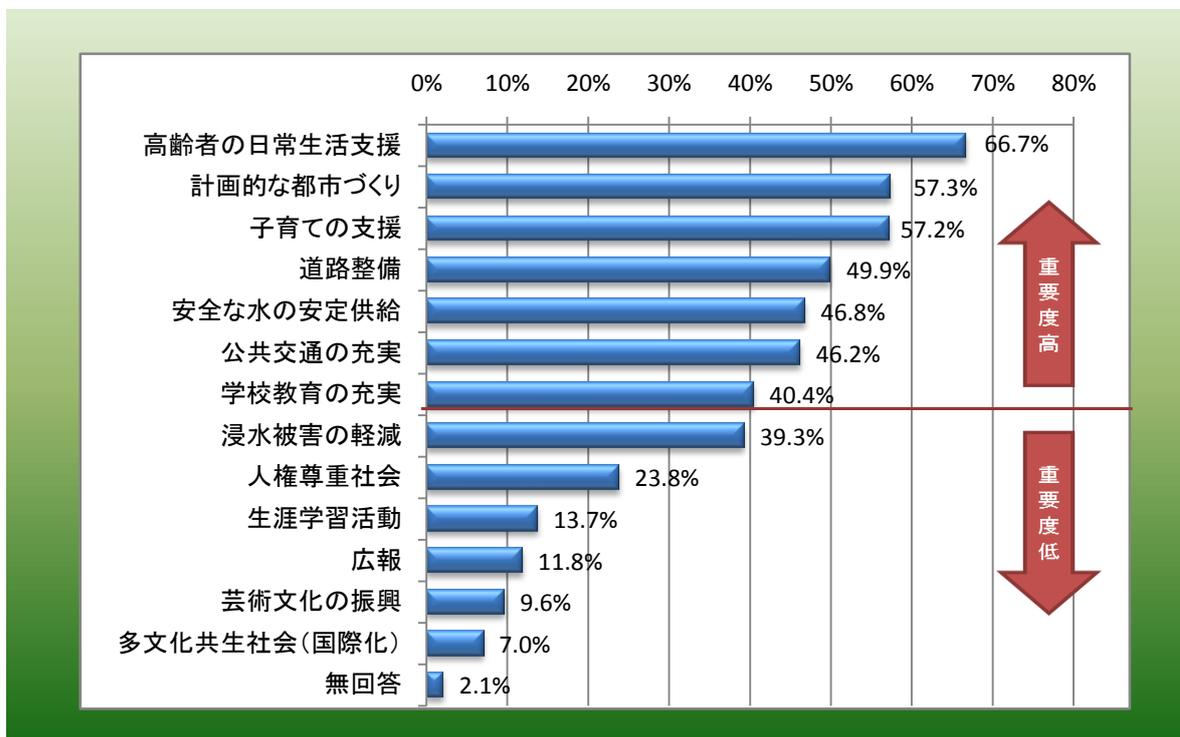
全項目の満足度の平均値プラス0.35ポイントと各項目を比較した結果、高い順から「人権尊重社会（0.94）」、「安全な水の安定供給（0.81）」、「広報よしかわ（0.75）」、「高齢者の日常生活（0.62）」、「多文化共生社会（0.45）」、「浸水被害の軽減（0.44）」、「子育てしやすさ（0.43）」の7項目は、平均値より高い結果となりました。

一方、「芸術文化に触れ合う機会（-0.16）」、「学校教育（-0.09）」、「公共交通の充実（-0.08）」、「道路整備（-0.06）」、「生涯学習活動（0.14）」、「計画的な土地利用（0.20）」の6項目は平均値より低い結果となりました。



## 6. 市の取り組みについての重要度

～ 市の取り組みについての重要度を伺ったところ、  
回答者の6割以上が「高齢者の日常生活支援」が重要であると感じている



市の取り組みについて重要だと思うもの5つを伺ったところ、「高齢者の日常生活支援（66.7%）」の割合が最も高く、「計画的な都市づくり（57.3%）」、「子育ての支援（57.2%）」は5割以上の回答者が重要であると感じています。

(重要だと思う項目を5つ選択)

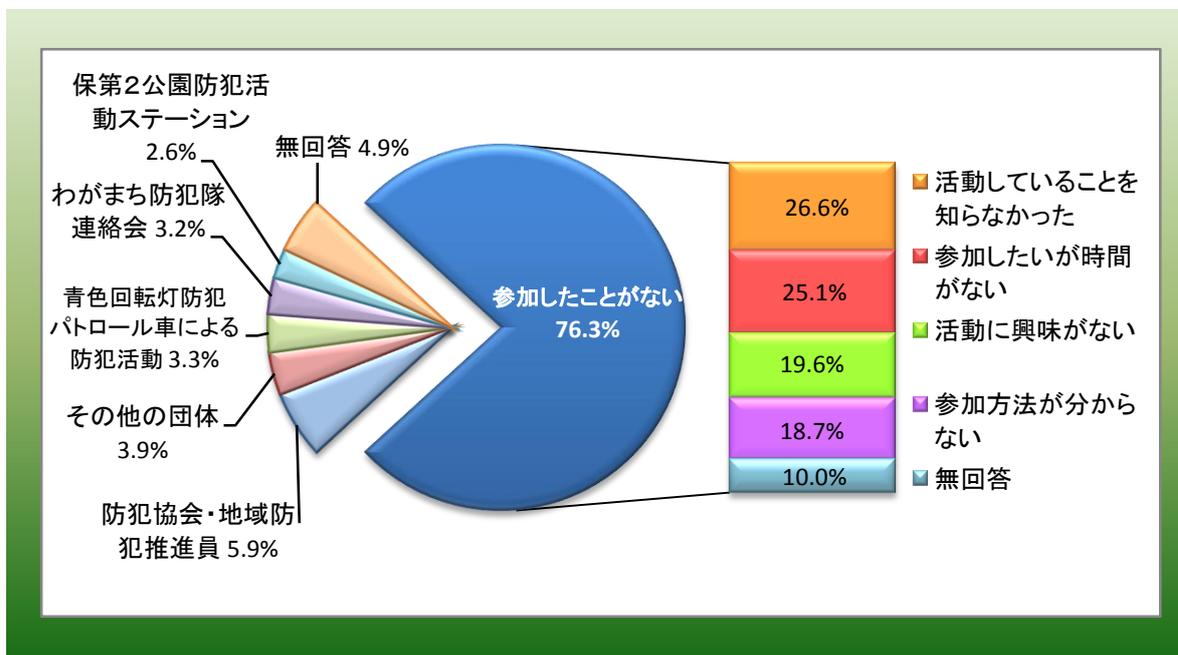
中央

区分	実数	割合
高齢者の日常生活支援	569	66.7%
計画的な都市づくり	489	57.3%
子育ての支援	488	57.2%
道路整備	426	49.9%
安全な水の安定供給	399	46.8%
公共交通の充実	394	46.2%
学校教育の充実	345	40.4%
浸水被害の軽減	335	39.3%
人権尊重社会	203	23.8%
生涯学習活動	117	13.7%
広報	101	11.8%
芸術文化の振興	82	9.6%
多文化共生社会(国際化)	60	7.0%
無回答	18	2.1%
計	4,026	
中央値	340	



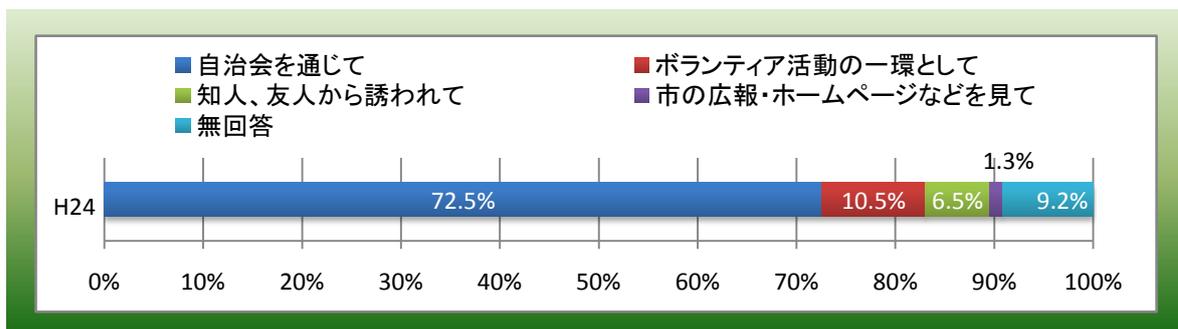
## 7-1. 防犯事業への参加状況

～ 参加したことがある防犯事業を伺ったところ、  
回答者の7割以上が「参加したことがない」と回答している ～



参加したことがある防犯事業を伺ったところ、「参加したことがない（76.3%）」の割合が最も高く、その理由については、1番目「活動していることを知らなかった（26.6%）」、2番目「参加したいが時間がない（25.1%）」、3番目「活動に興味がない（19.6%）」の順番でした。

防犯事業に参加したことがある方の参加したきっかけを伺ったところ、次のとおりでした。



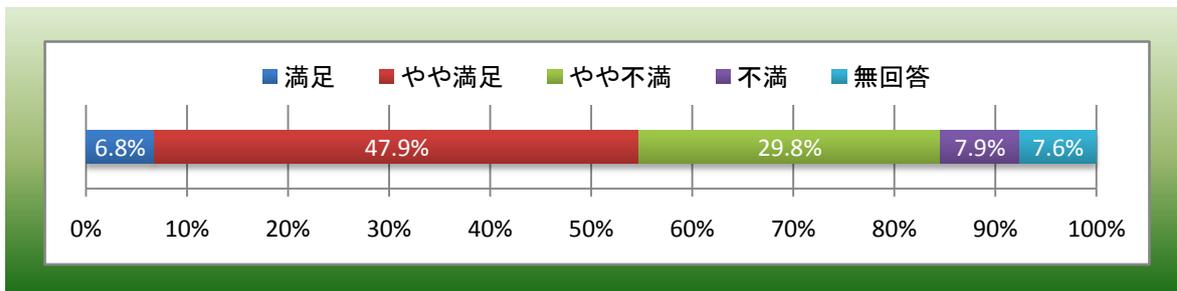
区分	実数	割合
自治会を通じて	111	72.5%
ボランティア活動の一環として	16	10.5%
知人、友人から誘われて	10	6.5%
市の広報・ホームページなどを見て	2	1.3%
無回答	14	9.2%

防犯事業に参加したきっかけの約7割が「自治会を通じて」（72.5%）でした。



## 7-2. 防犯体制の満足度

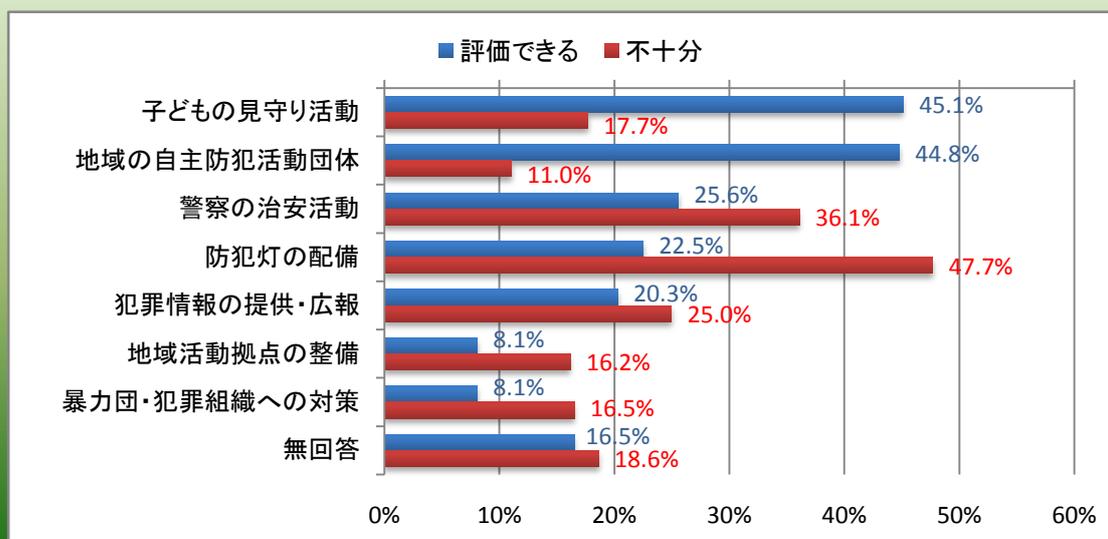
～ 防犯体制の満足度を伺ったところ、  
回答者の5割以上が「満足・やや満足」と回答している ～



防犯体制の満足度を伺ったところ、「満足・やや満足（54.7%）」が「やや不満・不満（37.7%）」を17ポイント上回りました。

「評価できる防犯にかかる取り組み」、「不十分だと思う防犯にかかる取り組み」を伺ったところ、次のとおりでした。

「評価できる防犯にかかる取り組み・不十分だと思う防犯にかかる取り組み」（複数回答 n=853）



評価できる防犯にかかる取り組み（複数回答 n=853）

区分	実数	割合
子どもの見守り活動	385	45.1%
地域の自主防犯活動団体	382	44.8%
警察の治安活動	218	25.6%
防犯灯の配備	192	22.5%
犯罪情報の提供・広報	173	20.3%
地域活動拠点の整備	69	8.1%
暴力団・犯罪組織への対策	69	8.1%
無回答	141	16.5%

「評価できる防犯にかかる取り組み」が「不十分だと思う取り組み」を上回った項目は、「子どもの見守り活動」（差28.4ポイント）、地域の自主防犯活動団体（差33.8ポイント）でした。

その他の項目では「評価できる防犯にかかる取り組み」が「不十分だと思う取り組み」を下回り、特に「防犯灯の配備」（差25.2ポイント）、「警察の治安活動」（差10.5ポイント）が大きく下回りました。

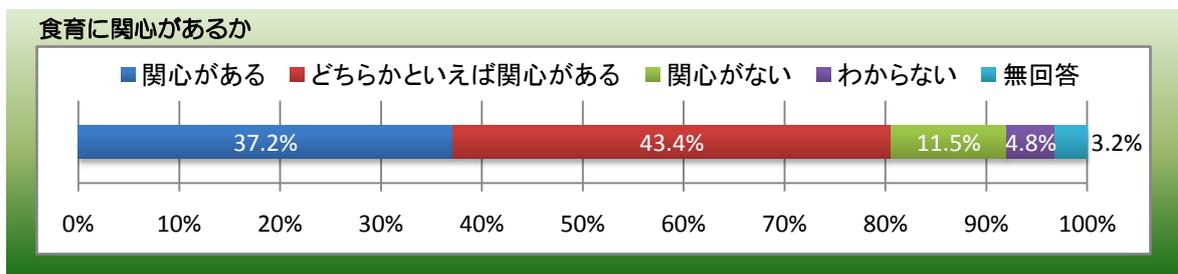
不十分だと思う防犯にかかる取り組み（複数回答 n=853）

区分	実数	割合
防犯灯の配備	407	47.7%
警察の治安活動	308	36.1%
犯罪情報の提供・広報	213	25.0%
子どもの見守り活動	151	17.7%
暴力団・犯罪組織への対策	141	16.5%
地域活動拠点の整備	138	16.2%
地域の自主防犯活動団体	94	11.0%
無回答	159	18.6%

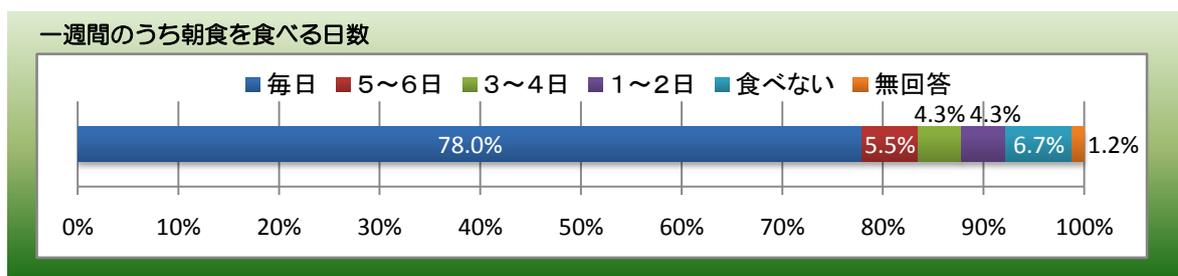


### 7-3. 食育について

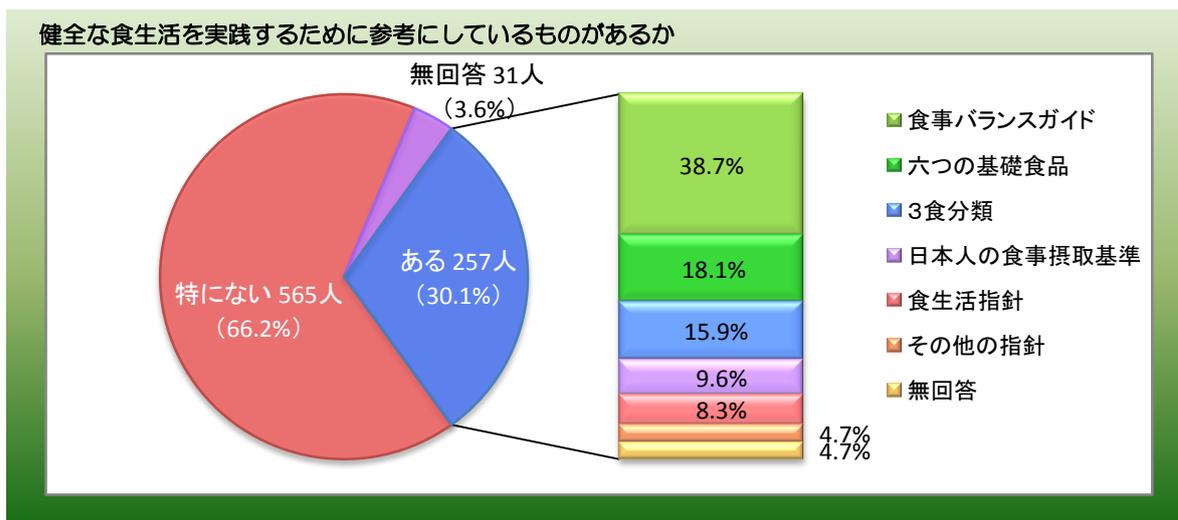
～ 食育に関心があるかを伺ったところ、回答者の8割以上が「関心がある・どちらかといえば関心がある」と回答している ～



食育に関心があるかを伺ったところ、「関心がある・どちらかといえば関心がある（80.6%）」が「関心がない（11.5%）」を69.1ポイント上回りました。  
一週間のうち朝食を食べる日数について伺ったところ、次のとおりでした。



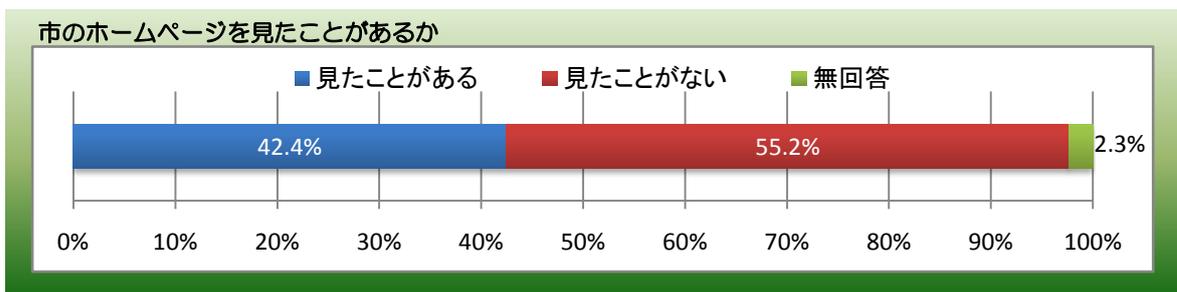
一週間のうち朝食を食べる日数を伺ったところ、「毎日」と回答した方が約8割でした。



健全な食生活を実践するために参考にしているものがあるかを伺ったところ、「特になし」と回答した方が約7割でした。「ある」と回答した方は約3割となり、「ある」と回答した方のうち、最も多くの方が参考にしているものは「食事バランスガイド（38.7%）」、2番目「六つの基礎食品（18.1%）」、3番目「3食分類（15.9%）」となりました。

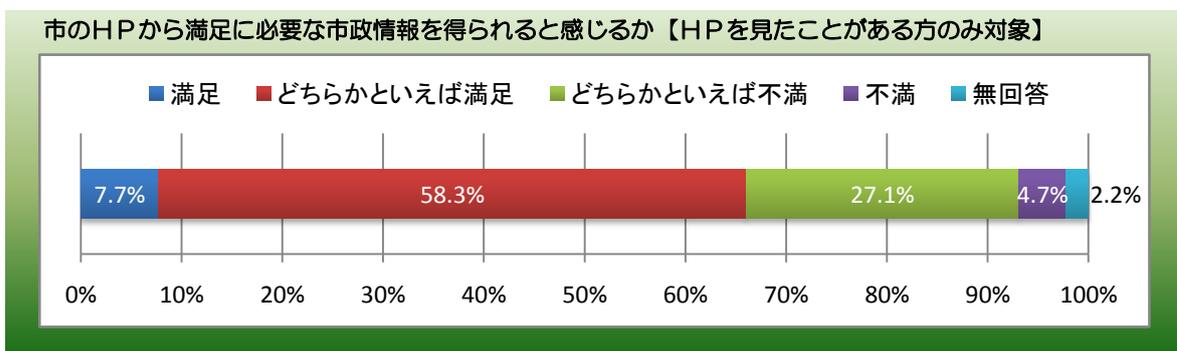
## 7-4. 吉川市ホームページの満足度

～ 吉川市ホームページを見たことがある方にホームページの満足度を伺ったところ、回答者の約7割が「満足・どちらかといえば満足」と回答している ～



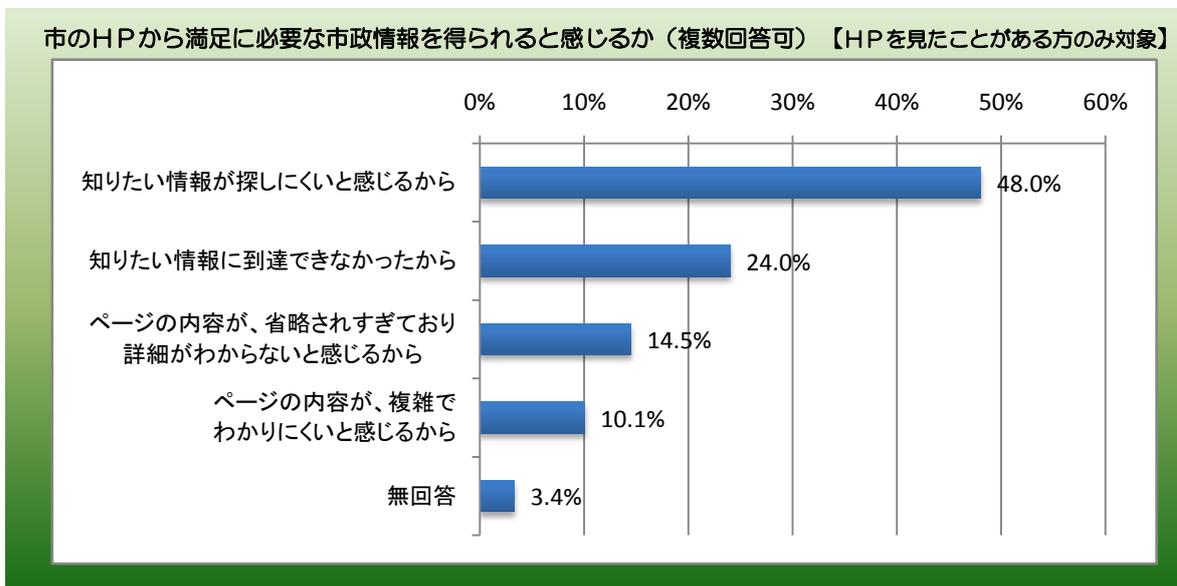
市のホームページを見たことがあるかを伺ったところ、「見たことがある（42.4%）」と回答した方は「見たことがない（55.2%）」を1.2.8ポイント下回りました。

「見たことがある」と回答した方に「市のHPから満足に必要な市政情報を得られると感じるか」について伺ったところ、次のとおりでした。



市のホームページを見たことがある方に市ホームページから満足に必要な市政情報を得られると感じるか伺ったところ、「満足・どちらかといえば満足」（66.0%）と回答した方は「不満・どちらかといえば不満（31.8%）」を34.2ポイント上回りました。

「不満・どちらかといえば不満」と回答した方に「市のHPに不満を感じる理由」について伺ったところ、次のとおりでした。

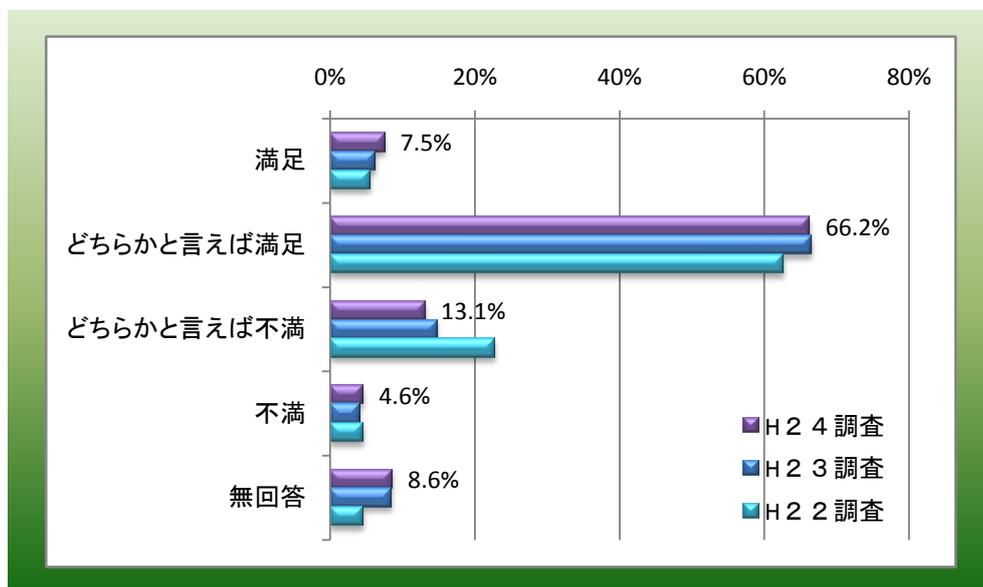


「不満・どちらかといえば不満」と回答した方に市のHPに不満を感じる理由を伺ったところ、「知りたい情報が探しにくいと感じるから（48.0%）」が最も多く、全体の約5割でした。2番目「知りたい情報に到達できなかったから（24.0%）」、3番目「ページの内容が、省略されすぎており詳細がわからないと感じるから（14.5%）」となりました。

## 8. 吉川市全体の取り組みに対する満足度

～ 回答者の7割以上が市民サービスへの取り組みについて  
「満足・どちらかと言えば満足」と感じている ～

吉川市全体の取り組みに対する満足度を伺ったところ、「満足」（7.5%）、「どちらかと言えば満足」（66.2%）、「どちらかと言えば不満」（13.1%）、「不満」（4.6%）となり、「満足・どちらかと言えば満足」（73.7%）は前回調査（72.8%）と比較して、0.9ポイントの増加となっています。



区分	実数	割合		
	H24調査	H24調査	H23調査	H22調査
満足	64	7.5%	6.3%	5.5%
やや満足	565	66.2%	66.5%	62.6%
やや不満	112	13.1%	14.8%	22.7%
不満	39	4.6%	4.0%	4.6%
無回答	73	8.6%	8.5%	4.6%
母数	853	100.0%	100.0%	100.0%



この概要版は、平成24年度市民意識調査報告書に掲載した内容の一部を記載したものです。

発行月 平成25年3月  
 発行 吉川市政策室  
 〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1  
 048-982-9445（直通）